



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

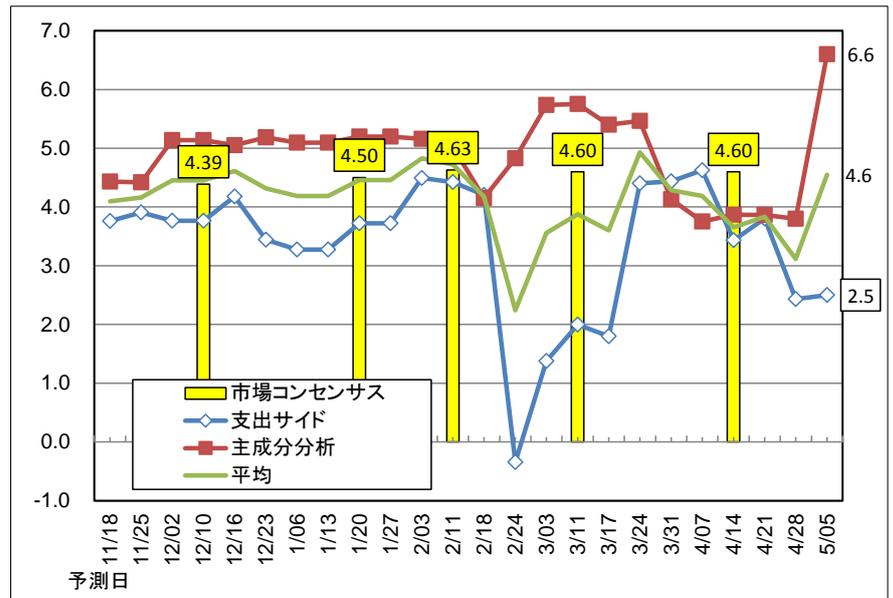
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2014年5月5日)

## ポイント

- ▶先週更新されたデータは、民間住宅、民間企業設備、在庫品増加、デフレーター及び雇用者報酬の予測に影響を与える。
- ▶3月の資本財出荷指数は3ヵ月ぶりの前月比マイナスとなったが、1-3月期は前期比+7.5%高い水準。
- ▶3月の家計消費や小売販売額には駆け込み需要の影響が色濃い。
- ▶一方、3月の新設住宅着工数は3ヵ月連続の前月比マイナス。1-3月期は前期比-10.3%大幅減少。
- ▶今週(5/5)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+2.5%と予測。先週の予測からほぼ横ばい。
- ▶駆け込み需要の影響が本格化し生産サイドモデルからの成長率予測は6%台に急上昇。今後3月の消費総合指数の結果が反映されるにつれて、支出サイドからの予測も上方修正され最終的には4%を超える伸びが予想される。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2014年1-3月期(%, 前期比年率換算)



### <駆け込み需要の影響が本格化し、生産サイドの1-3月期実質成長率予測は6%台に急上昇>

先週更新されたデータは、民間住宅、民間企業設備、民間企業在庫品増加、公的在庫品増加、デフレーター(民間住宅、公的固定資本形成)及び雇用者報酬の予測に影響を与える。

3月の資本財出荷指数は前月比-3.0%低下し3ヵ月ぶりのマイナスとなったが、1-3月期は前期比+7.5%高い水準。実績は事前予測を下回った結果、1-3月期の実質民間企業設備の予測値は先週から下方修正。最終需要財在庫指数は前月比+1.2%上昇し2ヵ月ぶりのプラス。実績は事前予測を上回ったため、1-3月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から上方修正された。

3月の統計には駆け込み需要の影響が色濃く見られる。全世帯の実質消費支出は前月比+10.8%大幅増加し2ヵ月ぶりのプラス。小売業販売額は同+6.3%増加し3ヵ月連続のプラスとなった。

一方、3月の新設住宅着工数は3ヵ月連続の前月比マイナス。建設工事費予定額(居住専用)も2ヵ月連続のマイナス。実績は事前予測を下回ったため、1-3月期の実質民間住宅の予測値は下方修正された。

今週(5/5)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+2.5%と予測。先週の予測からほぼ横ばい。実質民間住宅と民間企業設備の予測値は下方修正されたが、実質民間在庫品増加の予測値が上方修正されたため。一方、駆け込み需要の影響が本格化し生産サイドモデルからの実質成長率予測は6%台に急上昇。今後3月の消費総合指数の結果が反映されるにつれて、支出サイドからの予測も上方修正され、最終的には4%を超える伸びが予想される。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690